



第1回分会長会議開催しました。

25 秋闘要求実現のため頑張ろう！！

具体的方針・行動を提起しました！！

第1回分会長会議を10月22日(水)秋田、大曲で開催し25秋闘要求を実現するために具体的方針と行動を提起しました。みんなで頑張って要求を実現しましょう。

「25 秋闘今後の方針・行動」

1. 25 秋闘ワッペン行動

日本医労連25 秋闘ワッペンを全組合員が付ける
秋闘アピールを行います。(各分会に配布します。)

2. 25 秋闘日本医労連全国統一回答指定日

11月5日(水)団体交渉が開催される予定です。

※11月5日団体交渉終了後、執行委員会を開催します。

3. 25 秋闘日本医労連全国統一行動日

11月6日(木)昼休み報告(決起、抗議)集会開催します。

12:30～12:50 秋田：中通総合病院玄関前

※大曲検討中

4. 25 秋闘決起集会・分会役員交流会

11月6日か7日(検討中)18:00～19:00

組合事務所2階会議室(参加者クオカード1000円)

※大曲については、検討中



2025 秋闘ストライキ権確立批准投票は、99.2%の高率で批准されました！！

2025秋闘要求実現に向けて、「争議予告通知を提出しました」

今回「院内要求」の批准投票結果は賛成批准率99.2%(組合規約では3分の2、約67%以上の賛成で争議行為実施決定)となりました。今回の結果を受けて、10月21日(火)に秋田県知事、県労働委員会へ「労働争議の予告通知」を提出しました。届出してから10日後以降、争議行為(ストライキ等)の配置、実施等が可能となります。25秋闘要求実現に向けて今後運動を進めます。

＜労働争議の予告通知とは？＞

法律(労働関係調整法等)により、公益事業(病院の労働組合等)について争議行為(ストライキ等)をしようとする場合は、法律に基づき争議行為を行う少なくとも10日前までに労働委員会と知事に対して、文書により争議行為を予告する事が義務付けられています。中通病院労組は、毎年、春闘、秋闘時に争議通知を提出しています。

第70回日本母親大会が開催されました

報告が遅くなりました事をお詫びいたします。

2025年9月28日(日)～29日(月)の日程で、第70回日本母親大会がオンライン併用で東京で開催されました。2日間で延べ5,000人が参加しました。中通病院労働組合から高村委員長が参加しました。

第70回日本母親大会が東京で開催され、秋田県からは私一人での参加でした。1日目は分科会で日本教育会館を会場に、第10分科会「どうなる 日本の社会保障」に参加しました。講師は、佐久大学の唐鎌直義さんでした。大変人気のある分科会で、170席準備されていた席が全て埋まり立ち見が出るほど盛況でした。日本では、公的年金の減額、介護難民の急増、高齢者関連社会保障への攻撃が激しくなっています。また、日本に生まれると現役労働者が社会保障を身近に感じることは減多にないと言います。それは、日本政府が「労働者の子供として経験する貧困」と「子供を持つ親＝労働者として経験する貧困」に殆ど対処していないからと説明がありました。日本で「子供の貧困」が騒がれたのは、2000年以降で、イギリスに比べると100年遅れていると。「子供の養育は親の責任」と考える人が多く、これが低所得労働者に自己責任・自助を強制することに繋がっていると言います。現役労働者が生きやすい社会を、社会保障を拡充することで実現させるという事が大事だと感じました。

2日目の全体会は東京国際フォーラムで開催され、記念講演は「戦後80年と不戦の決意ー日本とアジアを再び戦場にしないために」と題してフリージャーナリストの布施祐仁さんが講演されました。秋田県での憲法集会でも講演していただきましたが、新しく現地へ行き、取材した内容が追加されていました。布施さんは、今ほど戦争の危機を感じることはないと言っていました。奄美の徳之島では、アメリカの海兵隊員がレーダーを設置している訓練が行われ、先島諸島、石垣島でも同様に行われていると説明がありました。アメリカのミサイルが持ち込まれ始め、台湾有事の際における作戦構想に組み込まれています。ハワイで日米共同訓練が行われて米軍の指揮下のもと、米軍の手足となって自衛隊が動いているという事実を知り、非常に危機感を感じました。戦争を行わないためには、対米従属をやめさせることが重要です。布施さんは、「是非周りの人に伝えて欲しい」と言って締めくくりました。

今回初めて日本母親大会に参加しました。参加者の年齢層は比較的高いですが、女性の力強い熱気に包まれた会場には圧倒されました。大変興味深い内容で勉強になりました。ありがとうございました。

